

1. 次の文章のうち正しいものはどれか。

- A) 肝・腎機能障害のある場合、薬物の血中濃度の低加速度が促進する。代謝・排泄が抑制され遅延する。血中濃度(AUC)の増加。
- B) 妊婦に使用された薬物は、胎児に移行することはない。血液胎盤関門を通して移行する。
- C) 血漿タンパクと結合していない薬物（遊離型）は、代謝の影響を受けない。遊離型は代謝されるが、結合型は代謝されない。
- D) バイオアベイラビリティとは、投与された薬がどの程度吸収され体循環血に移行するかをあらわす指標である。○

D

2. 薬物と副作用との組合せで誤っているものはどれか。

- A) ストレプトマイシン ----- 第8脳神経障害 アミノグリコシド系抗生物質（カナマイシン、ゲンタマイシン）
- B) チアマゾール ----- 無顆粒球症 バセドウ氏病治療薬。甲状腺ホルモン合成阻害
- C) ゲンタマイシン ----- 腎機能障害 アミノグリコシド系抗生物質 抗緑膿菌作用
- D) ジキタリス剤 ----- 頻脈 × 徐脈（強心薬/ゆっくりと強く）

D

3. 抗癌薬と副作用との組合せで誤っているものはどれか。

- A) シクロホスファミド ----- 出血性膀胱炎 ○ アルキル化薬
- B) ダウノルビシン ----- 間質性肺炎 心毒性。抗癌性抗生物質（ドキソルビシン）
- C) シスプラチン ----- 急性腎不全 ○ 白金錯体。悪心・嘔吐には5-HT3拮抗薬（オンダンセトロン）を併用。
- D) ビンクリスチン ----- 末梢神経障害 ○

B

4. 薬物と副作用との組合せで誤っているものはどれか。

- A) ストレプトマイシン ----- 難聴 ○ 第8脳神経障害。アミノグリコシド系抗生物質はすべて
- B) フロセミド ----- 高カリウム血症 × 低カリウム血症
- C) ジギタリス ----- 食欲不振 ○ 胃腸障害
- D) クロラムフェニコール ----- 再生不良性貧血 ○

B

5. 次の文章のうち正しいものはどれか。

- A) 吸入麻酔薬は静脈内麻酔薬に比べ麻酔深度を調節しやすい。○
- B) 全身麻酔は、大脳 → 小脳 → 延髄 → 脊髄の順に進行する。× 脊髄 → 延髄（呼吸中枢）
- C) エンフルランは、ハロタンに比べてエピネフリン併用による不整脈を生じやすい。× 生じない。カテコールアミン感受性亢進
- D) 麻酔前与薬で、気道分泌を抑制する目的で使用するのはアセチルコリンである。× アトロピン（抗コリン剤）

A

6. 次の文章のうち誤っているものはどれか。

- A) 三環系抗うつ薬は重篤な不整脈をおこすことがある。○ イミプラミンなどは、 $\alpha 1$ 遮断作用→不整脈、立ちくらみ
- B) 三環系抗うつ薬には抗コリン作用による副作用がある。○ 抗コリン作用→口渇、頻脈
- C) レボドパ（L-ドーパ）は中枢内でノルエピネフリンに変化して作用する。× ドパミン
- D) フェニトインを長期連用すると歯肉の肥厚が現われる。○ 歯肉増殖

C

7. 鎮痛薬について誤っているものはどれか。

- A) モルヒネは、経口投与すると効果が減弱する。○
- B) モルヒネの副作用として、呼吸抑制、悪心、嘔吐および便秘がみられる。○ 延髄の呼吸中枢抑制があるので喘息患者には禁忌
- C) 塩酸ペチジンの鎮痛作用はモルヒネと同等である。× 1/10 程度である
- D) ペンタゾシンは非麻薬性鎮痛薬であるが、麻薬に準じて管理するとされている。○ 依存性がある

C

8. β 受容体遮断薬の適応症として誤っているものはどれか。

- A) 心室性期外収縮 不整脈
- B) 気管支喘息 × 気管支拡張作用の $\beta 2$ 作用を遮断するので禁忌（喘息発作を誘発する危険がある）
- C) 本態性高血圧 心拍出量を減少させて血圧を下げる
- D) 労作性狭心症 心収縮力を減少させて酸素消費量を減らす（虚血状態の改善）

B

9. 次の組合せで誤っているものはどれか。

- A) アムホテリシン B ----- 真菌の細胞膜を障害する。○ 細胞膜に穴をあける
- B) テトラサイクリン ----- 葉酸の代謝を拮抗する。× 蛋白合成阻害（リボソームに結合）金属イオンとキレート/併用禁忌
- C) ペニシリン ----- 細胞壁の合成を阻害する。○ セファロスポリンも細胞壁の合成阻害
- D) マイトマイシン C ----- 核酸の合成を阻害する。○ 抗癌性抗生物質

B

10. 副腎皮質ステロイド薬の副作用でないものはどれか。

- A) 消化性潰瘍 ○
- B) 副腎不全 ○
- C) 低血圧 × 高血糖（糖尿病患者には禁忌）
- D) 骨粗鬆症 ○

C

11. 次の疾患とホルモン剤との組合せで正しいものはどれか。

- A) 乳がん ----- クロミフェン × 排卵誘発剤 乳がんには抗エストロゲン薬のタモキシフェン
B) バセドウ病 ----- トリヨードサイロニン × 甲状腺機能低下症 バセドウ病にはチアマゾール
C) 前立腺がん ----- テストステロン × 男性ホルモン 前立腺がんには抗アンドロゲン薬やLH-RH アゴニスト
D) 高プロラクチン血症 ----- ブロモクリプチン ○ ドパミン受容体刺激薬

D

12. 次の文章のうち正しいものはどれか。

- A) アスピリンは血小板凝集抑制作用を有する。○ TXA₂ 産生抑制
B) チアジド系利尿薬により高カリウム血症を来すことがある。× 低カリウム血症→ジギタリス中毒
C) β遮断薬を用いると頻脈になる。× 徐脈
D) ウロキナーゼは主として播種性血管内凝固症候群 (DIC) の治療に用いられる。× ヘパリン

A

13. 次の貧血と治療薬の組合せのうち誤っているものはどれか。

- A) 腎性貧血 ----- エリスロポエチン ○
B) 再生不良性貧血 ----- 葉酸 × 蛋白同化ステロイドを用いる。葉酸は悪性貧血に用いる。
C) 鉄欠乏性貧血 ----- 硫酸鉄 ○
D) 巨赤芽球性貧血 (悪性貧血) ----- ビタミン B12 ○

B

14. 徐脈の患者に使用が望ましくない薬剤はどれか。

- 1) ジギタリス 徐脈 (陰性変時作用/刺激伝導系の抑制)
2) アトロピン 頻脈 (抗コリン作用)
3) イソプロテレノール 頻脈 (β刺激作用)
4) プロプラノロール 徐脈 (β遮断作用) A) 1, 2 B) 1, 4 C) 2, 3 D) 3, 4

B

15. 次の文章のうち正しいものはどれか。

- A) アスピリンはシクロオキシゲナーゼの作用を阻害する。○ 血小板凝集抑制
B) アスピリンはピリン禁忌の患者に用いてはならない。× 非ピリン系である。ピリン系薬物は、スルピリン (ショックやピリン疹)
C) ヒスタミン H₂ 受容体遮断薬 (シメチジン) は胃酸分泌を促進する。× 胃酸分泌の抑制→抗潰瘍薬
D) アンジオテンシン変換酵素阻害薬 (カプトプリル) は、アンジオテンシン II の生成を抑制して血圧を上昇させる。× 血圧降下

A

16. アトロピンの作用で誤っているものはどれか。

- A) 瞳孔の散大 ○
- B) 平滑筋の弛緩 ○ 副作用として便秘
- C) 唾液の分泌促進 × □ 渴
- D) 眼圧の上昇 ○ 散瞳による眼圧上昇

C

17. 次の文章のうち誤っているものはどれか。

- A) 日和見感染では、通常、人体内および生活環境下に存在しない菌が問題となる。 × 免疫抵抗力の低下により弱毒微生物に感染
- B) ペニシリン G 耐性菌はペニシリン G を分解するβ-ラクタマーゼを産生する。○
- C) アミノ配糖体系抗生物質は腸管から吸収されにくい。○ 筋注。消化管内感染には経口投与
- D) メチシリン耐性ブドウ球菌（MRSA）にバンコマイシンが有効である。○ アルベカシン、テイコプラニン、ミノサイクリンなど

A

18. 治療薬と疾患の組合せのうち誤っているものはどれか。

- A) スルホニル尿素 ----- 糖尿病 ○ 経口血糖降下薬
- B) H2 遮断薬 ----- アレルギー × H1 遮断薬を用いる。ジフェンヒドラミン
- C) カルシウム拮抗薬 ----- 高血圧 ○ ニフェジピン、ジルチアゼムなど
- D) リドカイン ----- 不整脈 ○ 心室期外収縮、心室頻拍に第一選択（心室性不整脈のみ）

B

19. ジギタリス製剤に関する文章のうち正しいものはどれか。

- A) ジギタリス製剤は心収縮力を低下させる。× 陽性変力作用
- B) ジギタリス製剤は心拍数を減少させる。○ 陰性変時作用
- C) チアジド系利尿薬との併用によりジギタリス中毒が軽減される。× 低カリウム血漿でジギタリス中毒になりやすい。
- D) ジギタリス製剤は主に心室性不整脈の治療に使用される。× 心房細動、粗動の頻拍に用いる。（上室頻拍）

B

20. 次の文章のうち誤っているものはどれか。

- A) シクロスポリンは臓器移植後の拒絶反応防止に使用される。○ 免疫抑制剤
- B) イソニアジドは副作用として末梢神経炎を起こす。○ 予防に VB6 を投与。抗結核薬（リファンピシン、ストレプトマイシンの併用）
- C) マクロライド系抗生物質は難聴を来しやすい。× 難聴はアミノ配糖体系抗生物質
- D) ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤は AIDS の治療に用いる。○ ヌクレオシド系逆転写酵素阻害薬 3 + HIV プロテアーゼ阻害薬 1 の併用

C

21. 治療薬と疾患の組合せのうち誤っているものはどれか。

- A) クロフィブラート ----- 高脂血症 ○
- B) クロルプロマジン ----- 統合失調症 ○ ドパミン受容体拮抗薬
- C) インスリン ----- 糖尿病 ○
- D) フェニトイン ----- パーキンソン病 × 抗てんかん薬

D

22. 治療薬と疾患の組合せのうち誤っているものはどれか。

- A) リファンピシン ----- 結核 ○抗結核薬 (リファンピシン、イソニアジド、エタンブトール、ストレプトマイシンの併用)
- B) カルシトニン ----- 骨粗鬆症 ○
- C) ニトログリセリン ----- 狭心症 ○
- D) 炭酸リチウム ----- うつ病 × 躁病または躁鬱病

D

23. 治療薬の誤っている組み合わせを選びなさい。

- A) 胃潰瘍 ----- H1 受容体遮断薬 × H2 受容体遮断薬 (シメチジン、ラニチジン、ファモチジン)
- B) 気管支喘息 ----- β 2 受容体作動薬 ○ サルブタモール、プロカテロール
- C) 糖尿病 ----- インスリン ○ IDDM
- D) 高血圧 ----- アンジオテンシン変換酵素阻害薬 ○ カプトプリル

A

24. 誤っている組み合わせを選びなさい。

- A) ペニシリン ----- アナフィラキシー様反応 ○
- B) ストレプトマイシン ----- 消化器障害 × 難聴
- C) クロラムフェニコール ----- グレー症候群 ○ 再生不良性貧血もある
- D) アクチノマイシンD ----- RNA 合成阻害作用 ○

B

25. パーキンソン病治療薬を選びなさい。

- A) ジアゼパム × 抗不安薬
- B) フェニトイン × 抗てんかん薬
- C) イミプラミン × 抗うつ薬 (三環系)
- D) L-ドーパ ○ ドパミン前駆体 (血液能関門を通過して脳内に移行しドーパ脱炭酸酵素によりドパミンになる)

D

26. モルヒネの副作用を選びなさい。

- A) 呼吸興奮 × 呼吸抑制 (延髄の呼吸中枢を抑制)
- B) 散瞳 × 縮瞳
- C) 便秘 ○
- D) 口渇 × ない

C

27. ジギタリスの副作用を選びなさい。 → 徐脈、房室ブロック、消化器症状 (食欲不振、悪心・嘔吐)、頭痛、めまい

- A) 徐脈 (陰性変時作用の増強)
- B) 心不全 適応症
- C) 肝障害 ×
- D) 高血糖 ×

A

28. 次の文章のうち正しいものを選びなさい。

- A) ノルアドレナリンは、 β 受容体を介して血管収縮作用を示す。× $\alpha 1$ 受容体刺激作用
- B) アドレナリンは、 α 受容体遮断作用を有するアドレナリン作動薬である。× $\alpha + \beta$ 受容体刺激作用
- C) プロプラノロールは、気管支喘息、うっ血性心不全の患者には禁忌である。○ β 受容体遮断薬
- D) イソプロテレノールは、 β 受容体を遮断して心拍数および心拍出量を増大させる。× β 受容体刺激作用

C

29. アトロピンの副作用を選びなさい。

- A) 気道分泌亢進 × 抑制
- B) 徐脈 × 頻拍
- C) 下痢 × 便秘
- D) 口渇 ○

D

30. 誤っている組み合わせを選びなさい。

- | | | | | |
|--------------|-------|-----------|---|----------|
| A) ハロペリドール | ----- | 局所麻酔薬 | × | 統合失調症治療薬 |
| B) ハロタン | ----- | 吸入麻酔薬 | ○ | |
| C) フェノバルビタール | ----- | 抗てんかん薬 | ○ | |
| D) ブロモクリプチン | ----- | 抗パーキンソン病薬 | ○ | |

A

31. 次の文章のうち誤っているものを選びなさい。

- A) アスピリンは、シクロオキシゲナーゼ阻害作用を有している。○
- B) アスピリンは、血小板凝集を抑制する。○
- C) インドメタシンは、シクロオキシゲナーゼ阻害作用を有している。○
- D) インドメタシンは、潰瘍治療に有効である。× 副作用

D

32. 次の文章のうち誤っているものを選びなさい。

- A) ニトログリセリンは、冠状動脈を拡張させて虚血部分への血流を改善する。○
- B) ニトログリセリン舌下錠は、てんかん発作時に使用する。× 狭心症発作
- C) 硝酸薬とクエン酸シルデナフィルとの併用は禁忌である。○
- D) 硝酸イソソルビドの徐放剤や皮膚貼付テープが臨床応用されている。○

B

33. 誤っている組み合わせを選びなさい。

- A) ワーファリン ----- 抗血液凝固薬 ○
- B) 5-フルオロウラシル ----- 葉酸の代謝と拮抗する × ピリミジン代謝を阻害する。
- C) セファロリジン ----- 細菌の細胞壁の合成を阻害する ○
- D) イリノテカン ----- 骨髄抑制と強い下痢を起こす ○

B

34. 手指の消毒に適さないのはどれか。

- A) クロルヘキシジン
- B) ポピドンヨード
- C) エタノール
- D) グルタルアルデヒド × 器具類

D

35. 副腎皮質ステロイドの薬理作用を選びなさい。

- A) 抗炎症作用 ○
- B) 免疫増強作用 × 免疫抑制
- C) 抗不整脈作用 ×
- D) 利尿作用 ×

A

36. 正しい薬理作用の組み合わせを選びなさい。

- A) テオフィリン ----- 抗うつ作用 × 気管支拡張薬
- B) ウロキナーゼ ----- 血液凝固作用 × 血栓溶解薬
- C) カプトプリル ----- 血圧降下作用 ○
- D) バソプレシン ----- 気管支拡張作用 × 抗利尿ホルモン（尿崩症）

C

37. 胃潰瘍治療薬として用いられるものを選びなさい。

- A) β 受容体遮断薬 ×
- B) 副腎皮質ステロイド薬 ×
- C) H_1 受容体遮断薬 × H_2 受容体遮断薬
- D) プロトンポンプ阻害薬 ○ オメプラゾール

D

38. 治療薬と適応の正しい組み合わせを選びなさい。

- A) ヘパリン ----- 血管内凝固症候群(DIC) ○
- B) フロセミド ----- うつ病 × ループ利尿薬
- C) リドカイン ----- 狭心症 × 抗不整脈薬、局所麻酔薬
- D) ニトログリセリン ----- 不整脈 × 狭心症治療薬（感状動脈拡張作用）

A

39. 治療薬と適応の正しい組み合わせを選びなさい。

- A) プロプラノロール ----- 喘息 × 禁忌
- B) ドブタミン ----- ショック性低血圧 ○
- C) アトロピン ----- 緑内障 × 禁忌(散瞳で眼圧上昇)
- D) バンコマイシン ----- 悪性腫瘍 × MRSA

B

40. 抗癌剤でないのはどれか。

- A) ビンクリスチン ○ 微小管阻害薬（ビンカアルカロイド）
- B) マイトマイシンC ○ DNA合成阻害
- C) アクチノマイシンD ○ RNA合成阻害
- D) カナマイシン × アミノグリコシド系抗生物質

D

41. 高血圧治療薬はどれか。

- A) フェノバルビタール × 抗てんかん薬、睡眠薬
- B) ネオスチグミン × コリンエステラーゼ阻害薬（便秘治療）
- C) プロプラノロール ○ β 受容体拮抗薬
- D) ジフェンヒドラミン × 抗ヒスタミン薬（H1受容体拮抗作用で抗アレルギー作用）

C

42. 利尿薬を選びなさい。

- A) ピロカルピン × コリン作動薬（緑内障治療薬）
- B) ヒドロクロロチアジド ○ チアジド系利尿薬
- C) 硝酸イソソルビド × 狭心症治療薬
- D) ジゴキシン × 強心薬（ジギタリス製剤）

B